

農振除外に伴う地域計画変更内容（R7.7月公告）

1 「地域計画目標地図」から除外する農地一覧

番号	変更場所	面積		地目		目標地図名	担う者
				登記	現況		
1	大槻町字上新町57番	1,499.00	m ²	田	田	0112 【集落】大槻町_011_矢地内	A氏
	大槻町字上新町58番	1,657.00	m ²	田	田		その他の地域内農業者
2	大槻町字中ノ平90番1	1,001.00	m ²	田	田	0101 【集落】大槻町_013_中ノ平	その他の地域内農業者
	大槻町字中ノ平94番1	3,821.00	m ²	田	田		その他の地域内農業者
	大槻町字中ノ平東11番1	3,046.00	m ²	田	田		その他の地域内農業者
	大槻町字中ノ平東15番	2,534.00	m ²	田	田		その他の地域内農業者
	大槻町字中ノ平東16番	582.00	m ²	田	田		その他の地域内農業者
3	西田町大田字上洞438番1	2,947.00	m ²	田	田	1311_1312_1313 【集落】逢隈村_008-009-010_大田_李田_宮	その他の地域内農業者
4	西田町芹沢字宮田41番1	1,354.00	m ²	田	田	1302_1303 【集落】岩江村_010-014_芹沢_根木屋	その他の地域内農業者

大槻地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	令和7年 月 日 (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	大槻地区 (新町、上町、殿町、胡桃沢、南原、下大谷、滑河内、大橋、向山、矢地内、横山、 中ノ平、福楽沢、清水内、太田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	524 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	524 ha
② 田の面積	470 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	53 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	28 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	114 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

大槻地区は、農業者の平均年齢67.57歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:281人(うち50歳代以下41人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 10経営体

主な作物:水稲、露地野菜、施設野菜(キュウリ)、果樹(イチジク)、畜産(肉用牛)、キノコ類 等

- ・大規模で行う農家の農地が分散されている。
- ・郡山スマートインターもあり交通の利便性が良い。
- ・持続的に営農できるような環境整備として、基盤整備の活用を検討したい。
- ・住宅近辺の遊休農地は活用を地域で検討する必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者や新たな担い手の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、稲作のみに頼らない複合化を目指すことや、ブランド化を図ること、6次化製品の開発すること等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討し、PR方法(品評会等)による付加価値をつけること等について、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

なお、大槻町は交通アクセスが良いことから市外地への販路拡大することや、近くに直売所もあることから直売所向けの野菜を生産・販売することも地域として考えていき、積極的に所得向上を図る方法を地域で話し合っていく。

また、住宅近辺の活用がされていない遊休農地については、利活用を地域で検討していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	70	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。

また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを積極的に検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていける環境を整えていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、地区内で話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、地域ぐるみで技術などの支援をしていく。集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。

また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携	☐	⑩その他

①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があつた場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。

②ブランド化等による農産物の付加価値向上を図るとともに、SDGs推進のため、有機農業や減農薬・減化学肥料栽培等に取り組んでいく。

⑦⑧既存の多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理と休耕地等の草刈りなどの作業を行い、遊休農地の発生の防止を図る。また、水害等の対策のため、堀払いを定期的実施するなど防災意識の徹底を図る。

⑨耕畜連携(循環型農業)について、地域内で積極的にSDGs等の取り組みを進めていく。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	67経営体		81.9 ha	0 ha		196 ha	0 ha		

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

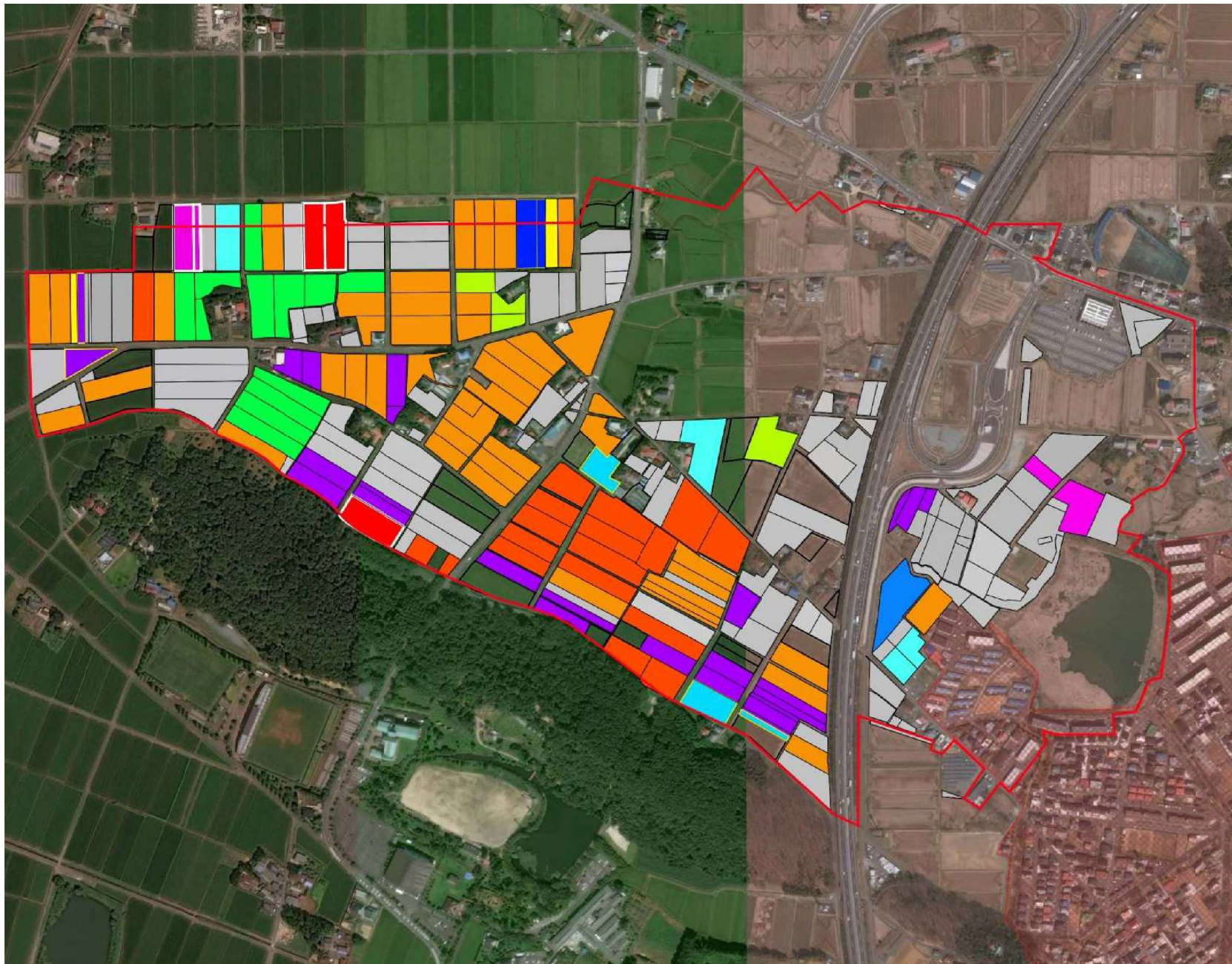
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託 面積	経営作物等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	稲作+野菜+花き	2.2 ha	ha	稲作+野菜+花き	2.9 ha	ha	
2	認農	B	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
3	認農	C	稲作+施設野菜	0.7 ha	ha	稲作+施設野菜	0.7 ha	ha	
4	認農	D	稲作	0.8 ha	ha	稲作	4.6 ha	ha	
5	認農	E	稲作	3.2 ha	ha	稲作	5.0 ha	ha	
6	認農	F	稲作	1.1 ha	ha	稲作	3.7 ha	ha	
7	認農	G	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.1 ha	ha	
8	認農	H	稲作+露地野菜+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜+施設野菜	6.1 ha	ha	
9	認農	I	稲作	4.7 ha	ha	稲作	7.7 ha	ha	
10	認農	J	稲作	1.9 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha	
11	認農	K	稲作	2.4 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha	
12	認農	L	稲作	2.2 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha	
13	認農	M	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha	
14	認農	N	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha	
15	認農	O	稲作	1.0 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha	
16	認農	P	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	
17	認農	Q	稲作+和牛繁殖	0.9 ha	ha	稲作+和牛繁殖	1.7 ha	ha	
18	認農	R	稲作	3.4 ha	ha	稲作	3.7 ha	ha	
19	認農	S	稲作	2.1 ha	ha	稲作	4.4 ha	ha	
20	認農	T	稲作	2.2 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha	
21	認農	U	稲作	3.0 ha	ha	稲作	6.0 ha	ha	
22	認農	V	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	
23	認農	W	稲作	2.4 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha	
24	認農	AB	稲作	2.8 ha	ha	稲作	8.0 ha	ha	
25	認農	AC	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	
26	認農	AD	稲作	0.2 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha	
27	認農	AE	稲作	2.0 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha	
28	認農	AF	肉用牛	1.3 ha	ha	肉用牛	1.9 ha	ha	
29	認農	AG	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
30	認農	AH	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	1.5 ha	ha	
31	認農	AI	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	
32	認農	AJ	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	
33	認農	AK	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	0.1 ha	ha	
34	認農	AL	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha	
35	認農	AM	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	
36	認農	AN	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
37	認農	AO	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha	
38	認農	AP	稲作	1.9 ha	ha	稲作	3.2 ha	ha	
39	認農	AQ	稲作	0.3 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	
40	認農	AR	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
41	認農	AS	露地野菜	1.3 ha	ha	露地野菜	1.3 ha	ha	
42	認農	AT	その他作物(栽培キノコ)	0.0 ha	ha	その他作物(栽培キノコ)	2.0 ha	ha	
43	認農	AU	稲作+肉用牛(繁殖)	4.5 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	29.0 ha	ha	
44	認農	AV	稲作	0.3 ha	ha	稲作	24.6 ha	ha	
45	認農	AW	稲作	6.5 ha	ha	稲作	8.1 ha	ha	
46	認農	AX	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha	
47	認農	AY	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	0.2 ha	ha	
48	認農	AZ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
49	認農	BA	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	8.1 ha	ha	
50	認農	BB	露地野菜	0.3 ha	ha	露地野菜	0.3 ha	ha	
51	認農	BC	稲作+雑穀・いも類・豆類	3.2 ha	ha	稲作+雑穀・いも類・豆類	4.7 ha	ha	
52	利用者	BD	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	
53	利用者	BG	稲作	2.7 ha	ha	稲作	3.5 ha	ha	
54	利用者	BH	稲作	2.0 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha	
55	利用者	BI	稲作	1.7 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha	
56	利用者	BJ	稲作	1.2 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	
57	利用者	BK	稲作	1.4 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	
58	利用者	BL	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	
59	利用者	BM	稲作	3.9 ha	ha	稲作	3.9 ha	ha	
60	利用者	BN	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	
61	利用者	BO	稲作	0.9 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha	
62	利用者	BP	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	
63	利用者	BQ	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha	
64	利用者	BR	稲作	0.2 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	
65	利用者	BS	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	
66	利用者	BT	施設野菜+露地野菜	0.6 ha	ha	施設野菜+露地野菜	0.6 ha	ha	
67	利用者	BU	肉用牛	0.0 ha	ha	肉用牛	0.0 ha	ha	農地なし
68		BV		ha	ha		ha	ha	

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0101	大槻町	【プラン】大槻町中ノ平（旧市）	2025/5/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

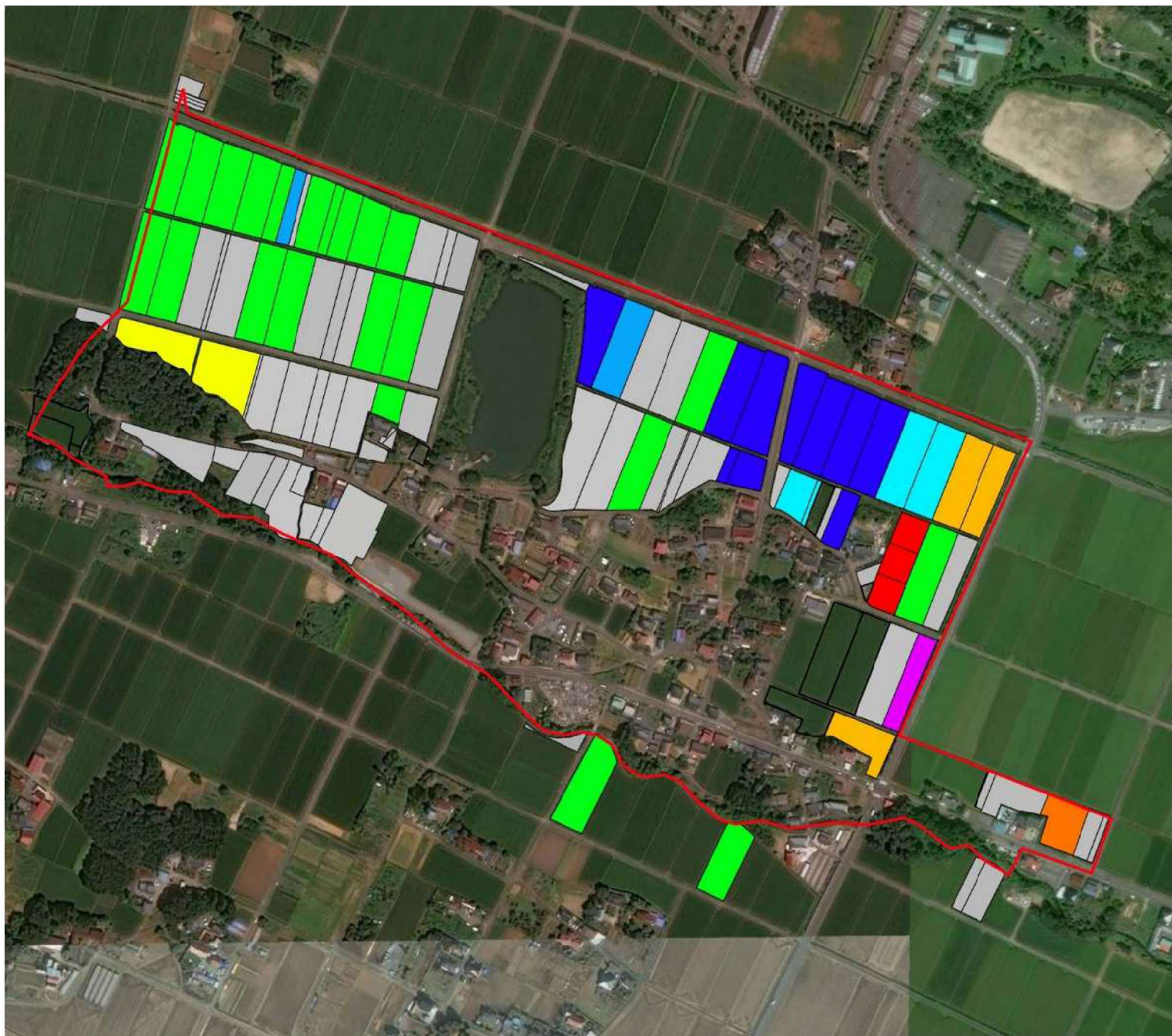
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0112	大槻町	【集落】大槻町_011_矢地内	2025/5/30



上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

西田地区

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	令和7年 月 日 (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	西田地区 (芹沢、根木屋、鬼生田3区、鬼生田2区、鬼生田1区、鬼生田4区、三町目平、三町目中央、三町目上、大田、李田、宮田、木村、板橋、丹伊田、高柴、土棚)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	741 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	741 ha
② 田の面積	342 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	397 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	99 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

西田地区は、農業者の平均年齢70.32歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:285人(うち50歳代以下17人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 8経営体

主な作物:水稲、大豆、麦、野菜(ナス、ピーマン、アスパラガス、さつまいも、ブロッコリー)、
果樹(梅)、花き、畜産(肉用牛)、きのこ 等

- ・鳥獣被害(ハクビシン、アライグマ、ミンク、タヌキ等)が増加傾向にある。
- ・農業者の高齢化が進み担い手も減少傾向にあり、特に水稲を行う農業者が減少していく事が想定される。
- ・直売所向け野菜を生産している人が増えてきている。
- ・気候変動に対応できるよう水源の確保が必要である。
- ・地目が畑の農地は基盤整備等が未実施のエリアが多い。
- ・高齢化が進んでおり、担い手不足が加速化している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

市内他地区と比べて高齢化が進んでいることから、認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、地域内での機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、入作者も含め、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、観光化やブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取り組みを行うことを積極的に検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	70	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
令和11年度 団地面積の拡大を進める。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。 また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていきける環境を整えていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入作者や農業参入の事業者等についても農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行う受皿を整備するとともに、担い手確保・育成に努める。 また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、地域内での機械の共同利用なども積極的に検討していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農業支援サービス事業体等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ②⑨耕畜連携等（循環型農業）については、地域全体での減農薬も含め、地域内で積極的に検討を進めていく。
- ③農作業の効率化等を図るため、地域内でスマート農業の取り組みについて検討していく。
- ⑤観光資源（梅）を中心とした地域農業の活性化を図ることを地域の話合いによって進めていく。
- ⑩地域内農産物の販路拡大として、ネット販売も視野に入れ、地域の話合いの場において積極的に検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	40経営体		44.1 ha	0 ha		60.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付けける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	稲作	6.8 ha	ha	稲作	9.4 ha	ha		
	B								
2	認農 C	稲作+肉用牛(繁殖)+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)+露地野菜	5.3 ha	ha		
3	認農 D	稲作+露地野菜	0.6 ha	ha	稲作+露地野菜	0.6 ha	ha		
4	認農 E	稲作+露地野菜	2.7 ha	ha	稲作+露地野菜	4.1 ha	ha		
5	認農 F	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	2.7 ha	ha		
6	認農 G	稲作+露地野菜	2.2 ha	ha	稲作+露地野菜	0.5 ha	ha		
7	認農 H	肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	肉用牛(繁殖)	0.1 ha	ha		
8	認農 I	稲作+肉用牛(繁殖)	1.0 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	1.7 ha	ha		
9	認農 J	露地野菜	1.2 ha	ha	露地野菜	0.3 ha	ha		
10	認農 K	稲作+肉用牛(繁殖)	2.4 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	2.3 ha	ha		
11	認農 L	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
12	認農 M	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.9 ha	ha		
13	認農 N	肉用牛(繁殖)	1.6 ha	ha	肉用牛(繁殖)	1.6 ha	ha		
14	認農 O	稲作	2.4 ha	ha	稲作	1.6 ha	ha		
15	認農 P	露地野菜	0.8 ha	ha	露地野菜	0.4 ha	ha		
16	認農 Q	露地野菜+施設野菜	1.3 ha	ha	露地野菜+施設野菜	1.1 ha	ha		
17	認農 R	肉用牛(繁殖)	0.0 ha	ha	肉用牛(繁殖)	3.2 ha	ha		
18	認農 S	その他の作物(栽培きのこ)	0.0 ha	ha	その他の作物(栽培きのこ)	0.7 ha	ha		
19	認農 T	花き・花木	0.1 ha	ha	花き・花木	0.1 ha	ha		
20	認農 U	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.5 ha	ha		
21	認農 V	露地野菜+施設野菜	0.9 ha	ha	露地野菜+施設野菜	0.9 ha	ha		
22	認新 W	にんにく	0.8 ha	ha	にんにく	0.6 ha	ha		
23	認新 X	露地野菜	2.0 ha	ha	露地野菜	2.0 ha	ha		
24	認新 Y	稲作+野菜	2.1 ha	ha	稲作+野菜	2.1 ha	ha		
25	認新 Z	その他の作物(きのこ菌床栽培)	0.7 ha	ha	その他の作物(きのこ菌床栽培)	1.9 ha	ha		
26	利用者 AA	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.1 ha	ha		
27	利用者 AB	稲作	1.8 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
28	利用者 AC	稲作	1.2 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha		
29	利用者 AD	稲作	0.8 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
30	利用者 AE	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha		
31	利用者 AF	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
32	利用者 AG	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha		
33	利用者 AH	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.8 ha	ha		
34	利用者 AI	畑	2.5 ha	ha	畑	0.3 ha	ha		
35	利用者 AJ	施設野菜	0.0 ha	ha	施設野菜	0.2 ha	ha		
36	利用者 AK	稲作+野菜	2.1 ha	ha	稲作+野菜	2.5 ha	ha		
37	利用者 AL	稲作	2.7 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha		
38	利用者 AM	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
39	利用者 AN	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	1.4 ha	ha		
40	利用者 AO	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		

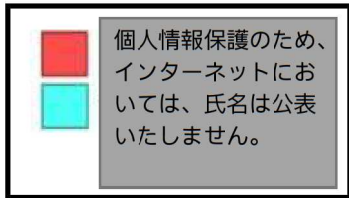
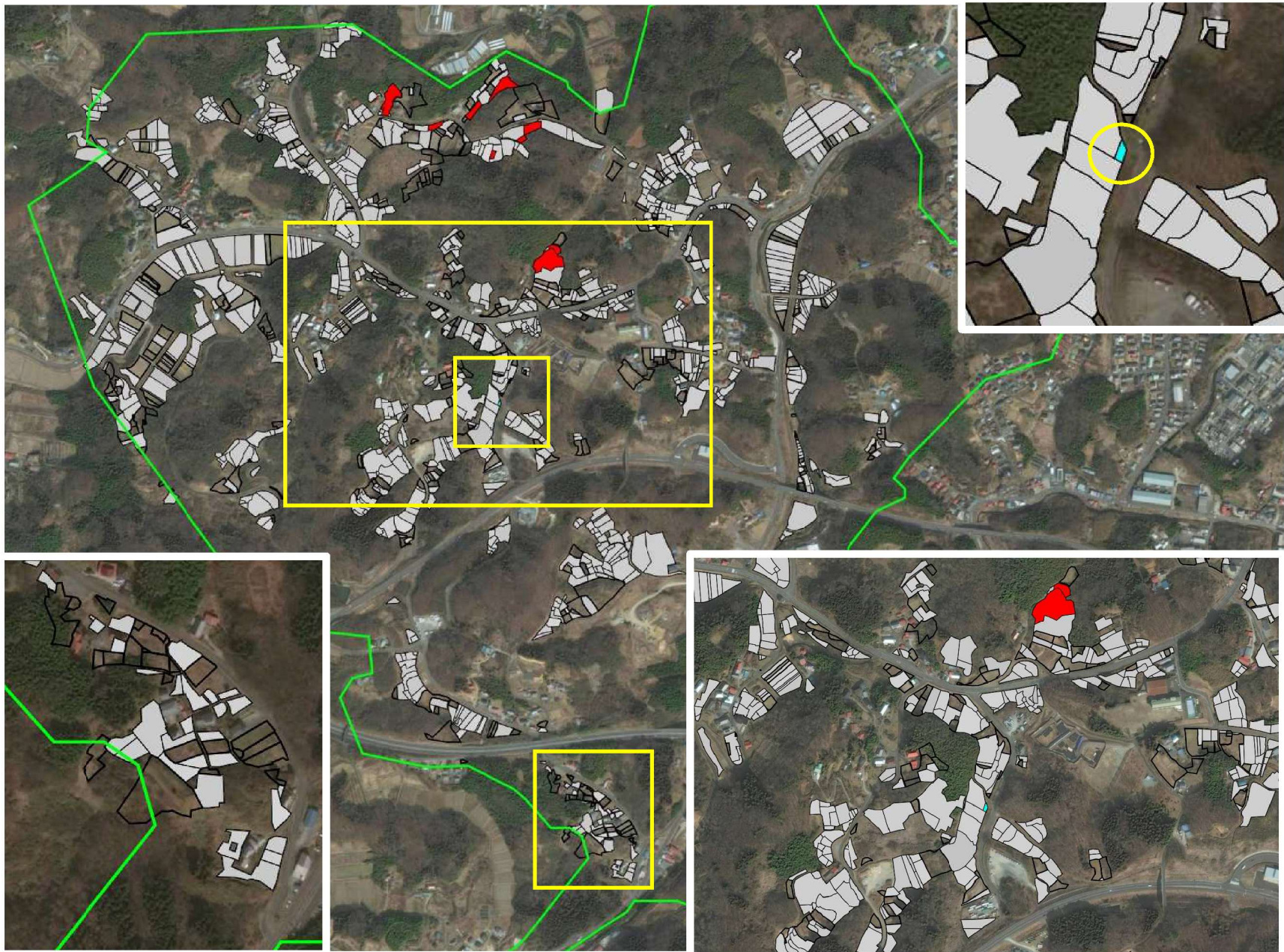
地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
1302 1303	西田町	【集落】岩江村_010_芹沢 【集落】岩江村_014_根本屋	2025/5/30



■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
1311	西田町	【集落】逢隈村_008_大田	2025/5/30
1312		【集落】逢隈村_009_李田	
1313		【集落】逢隈村_010_宮田	



上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討